

答えのない問いに向き合う力 -「『平和』ってなんだろう」から始まる学び-

修学旅行で広島を訪れることを前に、学年では「平和とは何か」を考える学習を行いました。授業ではまず、「あなたにとって平和とは何ですか？」という問いからスタートしました。

生徒たちからは、「戦争がないこと」「安心して暮らせること」「家族や友達と普通に過ごせること」など、さまざまな意見が出されました。普段あまり意識することのない「平和」という言葉ですが、一人ひとりが自分の生活や経験と結びつけながら考える姿が見られました。



また、戦争はいけないという思いがある一方で、世界では今も武力が用いられている現実があることや、原爆投下に対する日本と海外の受け止め方に違いがあることにも触れました。生徒たちは、「平和って簡単な言葉だけど、考えると難しい」「いろいろな立場があることを初めて知った」など、それぞれに気づきを得ていました。

今回の学習では、答えのない問いに向き合うことの大切さも大事にしています。考える力とは、必ずしも一つの正しい答えを出すためだけのものではありません。考えてもすぐに答えが出ない問いから逃げずに向き合い続けることも、大切な学びの一つです。世の中には「唯一の正解」があるとは限りません。だからこそ、生徒一人ひとりが自分なりに考え、自分にとっての「納得できる答え（納得解）」を見つけていくことを大切にしていきたいと考えています。



今回の学習をきっかけに、平和を過去の出来事や遠い国の問題としてではなく、自分自身に関わる課題として考えていってほしいと願っています。修学旅行では広島を訪れ、現地での学びや同世代の人たちとの交流を通して、平和についてさらに理解を深めていく予定です。

これからも、生徒たちが「自分の頭で考え続ける力」を育てていけるよう、学年として学びを積み重ねていきたいと思っています。

生徒の「振り返り」より

○今日の集会で学んだことは、「平和」については、そう簡単に解ける質問ではないことがわかりました。修学旅行で学びたいことは、その「答えのない問い」や自分なりの「納得解」を見つけ、自分の意志を持ちたいと思いました。

○平和の学習をして広島と長崎に原爆が落とされたことや、戦争などについていろんなことを考えられました。守ったりする時にやり返しをするのはしょうがないのかなと思っていましたが、もししたら戦争になってしまうし、たくさんの人の命が奪われてしまうと思いました。だから、仕方がないだけで戦争はしたらだめだと分かったし、戦争のことをふざけて言ったり、軽く思ったりしたら絶対にだめだと感じました。修学旅行で広島に原爆が落とされた所に初めて行くので、原爆などについて真剣に考えて、どんな戦争だったのかなどを学びたいし、話をしっかり聞いて、問いを持ち帰れるようにしたいです。



○私は今まで聞いてきた歴史や、言葉とは違う視点からの話だったので新鮮でした。広島や長崎の被害の話や、他の国からの意見も聴くことができて良かったです。それぞれの国でそれぞれの考えがあって視野が広がったなと思いました。旅行先ではより具体的な話や、自分の目で見ることで感じることもあると思うのでそれに注目していきたいです。

○戦争はいけないことだと思っていたけど、本当に必要なときは対抗しないといけないなど詳しく考えたことがなかったので、修学旅行や探究活動で自分なりの答えを見つけたいと思いました。実際に広島に行ってみないとわからないことを学んできたいです。調べてわかることは事前に知っておきたいです。

○私は、原爆のことは実際に見たこともなかったから、他人事のように感じていたけれど、実際に広島に行って、自分事として何ができるか、考え続けるために知るべき戦争、原爆のことを学びたいです。今回の平和学習で、いままで戦争のことで考えていたことはまだまだ浅いことだったんだと痛感しました。「今自分ができること」を休み時間に友達と話していたけど、話せば話すほど分からなくなったり、自分の出来ることのちっぽけさに悔しいと思ったりもしたけど、ちっぽけでも長く、多くの人が心がければ大きなことになるので、考え続けたいと思いました。

○私は今日の平和学習を受けて、平和は他人事にすれば解決することではなく、自分の意見も考えながら納得する考えを出せるように考える力をつけていきたいと思います。旅行先の広島では、大学生との対話を受けて戦争についてどのように考えているのかを知り、自分の意見と比べながら平和についての考えを深めていきたいです。また探究学習ともリンクしながら平和や戦争について考えていけると良いと思いました。

○出来事を感じ方やその人の中の真実は、その人の立場や生きている時代によって変わることがわかった。またそこから自分の納得解を考えてみると、今のところは自分の大切にしている自由が皆に保証される世の中が良いと考えました。また考え方は変わるかもしれませんが、それまでもそれからも考えていきたいと思います。

○戦争とは何なのかよくわからなくなった。自分が考えていたことが浅はかにおもえた。他の国の考えなど、自分の考えだけで決めつけをしないように気をつけたいし、どんどん情報をアップデートしたいと思った。3年生の広島ではそれまでに戦争や原爆に関する情報を身に付け、ガイドをしてくれる大学生と深い対話ができるようにしたい。

○戦争は結論が簡単に出ないし、自分で歴史について知って戦争はどんなものだったのかを知り、考えたいと思った。そして原爆の怖さを知り、みんなに伝えたい。旅行先では、原爆ドームを見たり安田女子大学の人と意見を交わしたりして、戦争や原爆について実際に見たり聞いたりしたい。

○私は今まであまり戦争のことや原爆の被害のことを深く考えたりしたことはなかったけど、学年集会で自分はこのことに対してどういう思いなのかをよく考えたりできたし、いろいろな人の意見を聞いて、「こんな視点もあるんだ」と思ったし、修学旅行先で広島市に行くとなんか、写真などだけでは伝わらない原爆の悲惨さも知れると思ったので、学んだことをまずは家族などに伝えたいと思いました。

○日本は原爆を落とされたから被害者ではなく、大日本帝国の時代のときは東南アジアなどを植民地にして奴隷などしていたからその罪を償いながら、原爆のことを世界に伝えていってほしいと思った。原爆を落とされたから、修学旅行で広島に行って色々ことについて知りたかった。

○平和というのは綺麗事だけじゃ済まされないということを感じた。だからこそ、修学旅行では原爆投下のことについて、見る、聞くはもちろん、現地の大学生と対話をしながら平和についてじっくり考えたい。自主プランを通して自分にとっての「納得解」を求めたい。

